中央アジア関連研究文献リスト 2011

本リストは、2011 年（1 月～ 12 月）に刊行された、原則としてイスラーム化以降の中国新疆および旧ソ連領のムスリム地域およびその周辺地域に関する学術文献をリストアップしたものである（理科系のものを除く）。原則的に、国内で刊行された、国内で活動する研究者による著作を中心とし、エッセイや事典項目等は除外した。ただし、本学会会員の著作については、海外刊行のものも一部含まれる。なお、各文献の副題はコロンつなぎで統一した。

書籍

梅村坦 , 新免康編『中央ユーラシアの文化と社会』(中央大学政策文化総合研究所研究叢書)
中央大学出版部（4,305 円）
「ナーナクの思想形成における中央アジアのインパクト：ナーナクとバーブルの遭遇を手掛かりに」（保坂俊司）
「新疆におけるスウェーデン伝道団の活動とムスリム住民」（新免康）
「古代帝国に組み入れられる現代国家：帝国型国家（Empire-state）と現代中国の国家形態」（侍建宇）
「多様化するゾロアスター教徒：改宗ゾロアスター教徒に対するパールシー・コミュニティの反応」（香月法子）
「漢語教育に対するウイグル人の意識：教員と大学生に対する HSK, MHK に関してのアンケート調査から」（王瓊）
「現代カシュガルのウイグル人鍛冶職人集団：歴史的考察への予備作業」（梅村坦）
などを所収

Uyama Tomohiko, ed., *Asiatic Russia: Imperial Power in Regional and International Contexts* (London: Routledge, 2011), xv + 296 p. (£ 80.00)
“Introduction: Asiatic Russia as a space for asymmetric interaction” (Uyama Tomohiko)
“Tatarskaia Kargala in Russia’s eastern policies” (Hamamoto Mami)

“Russo-Chinese trade through Central Asia: regulations and reality” (Noda Jin)

“Sunni-Shi‘i relations in the Russian protectorate of Bukhara, as perceived by the local ‘ulama” (Kimura Satoru)

“The Alash Orda’s relations with Siberia, the Urals and Turkestan: the Kazakh national movement and the Russian imperial legacy” (Uyama Tomohiko)

などを所収

熊谷瑞恵『食と住空間にみるウイグル族の文化:中国新疆に息づく暮らしの場』昭和堂（6.500 円 + 税）

小松久男（監訳）, V.V. バルトリド『トルキスタン文化史 1』(東洋文庫) 平凡社（2,940 円）

———（監訳）, V.V. バルトリド『トルキスタン文化史 2』(東洋文庫) 平凡社（3,150 円）

近藤信彰編『ペルシア語文化圏史研究の最前線』（イスラム文化研究第 99 集、中東イスラーム研究シリーズ第 16 集）東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（非売品）

「前古典期チャガタイ語文学における翻訳・翻案」（菅原睦）

「ハーフィズ・アブルーの地理書におけるマー・ワラー・アンナフルの条について」（川口琢司）

などを所収

坂井弘紀 (翻訳)『ウラル・バトゥル:バシュコルト英雄叙事詩』(東洋文庫) 平凡社 (2,940 円)

須田将『スターリン期ウズベキスタンのジェンダー：女性の覆いと差異化の政治』風響社（ブックレット「アジアを学ぼう」）（840 円）

中西健『中央アジア･クルグズスタン:旧ソ連新独立国家の建設と国民統合』明石書店（3,990 円）

野田仁『露清帝国とカザフ = ハン国』東京大学出版会（7,350 円）

浜野道博『検証 キルギス政変：天山小国の挑戦』東洋書店（2,520 円）

濱本真実『共生のイスラーム：ロシアの正教徒とムスリム』山川出版社（1,200 円 + 税）

藤本透子『よみがえる死者儀礼：現代カザフのイスラーム復興』風響社（6,720 円）

松原正毅『カザフ遊牧民の移動：アルタイ山脈からトルコへ 1934-1953』平凡社（5,775 円）

松本弘編著『中東・イスラーム諸国 民主化ハンドブック』明石書店（7,140 円）

「< 中央アジア・南カフカス諸国 > 解説」（宇山智彦）

「カザフスタン共和国」（湯浅剛）

「ウズベキスタン共和国」（須田将）

「アゼルバイジャン共和国」（立花優）

「アルメニア共和国」（吉村貴之）

などを所収

論文

秋山徹「クルグズ遊牧社会におけるロシア統治の展開：統治の仲介者としてのマナプの位置づけを中心に」『スラヴ研究』(58) , 29–56 頁

Akmatalieva Jakshylyk『キルギス語』(特集 モダリティ)『語学研究所論集』(16), 203–209 頁

淺村卓生「カザフスタンにおける自国語振興政策及び文字改革の理念的側面」『外務省調査月報』2011 年度 (1), 1–24 頁

アナトラ・グリジャナティ「教育現場における言語使用の変化とその民族的・社会的影響：新疆ウイグル自治区・ウルムチ市における双語教育を事例に」(特集 学校教育における少数派言語)『ことばと社会』(13), 126–147 頁

Abudurexiti Abuduletifu「在日ウイグル人の言語アイデンティティ」『社会システム研究』(14), 181–194 頁

アブリミテ・ミジテ , 河原 達也 , ハムヅラ・アスカ「識別学習に基づく音声認識単語辞書の最適化」『情報処理学会研究報告　SLP, 音声言語情報処理』2011-SLP-87(5), 1–4 頁

石井祥子「モンゴルのカザフ：国家体制の変革のはざまで」『地理』56(11), 94–103 頁

石村誠人「ウズベキスタンの現状と課題」『Business research』(1038) , 78–85 頁

磯貝 健一「20 世紀初頭サマルカンドの 7 通のファトワー文書：中央アジア・イスラーム法廷の裁判におけるムフティー」『日本中東学会年報』27(1), 259–282 頁

伊藤順二「カフカスの「高貴な野蛮人」」『世界史の研究』（歴史と地理）(227) (通号 644), 57–61 頁

稲垣文昭「水資源対立に見るウズベキスタンとタジキスタンの関係」『国際情勢』(81), 281–289 頁

Уяма Томохико. Восприятие международной обстановки начала XX в. А. Букейханом и его современниками // «Алаш мұраты және тәуелсіз Қазақстан»: Халықаралық ғылыми-практикалық конференцияның материалдарының жинағы. Астана: Беркут-Принт, 2011. С. 13–19.

宇山智彦「（書評）浜由樹子著『ユーラシア主義とは何か』」『国際政治』(163)、180–183 頁

———「勃興する第二地域と日本：中央アジア史から見た「文明の生態史観」」小長谷有紀責任編集『梅棹忠夫：知的先覚者の軌跡』国立民族学博物館 , 56–57 頁

———（程艳阳訳）「日本的中部欧亜研究:俄羅斯研究与東方研究的緊密結合」『俄羅斯研究』2011 年第 1 期 , 122–127 頁

大原一真「カザフスタン経済と銀行部門」『国際金融』(1226), 32–37 頁

落合康浩 , 水嶋一雄「キルギス共和国アライ谷における産業構造及び生活の実態」『日本大学文理学部自然科学研究所研究紀要』(46), 11–24 頁

小田桐奈美「キルギス語の正書法改革の展開：ロシア語的要素の扱いをめぐって」『ことばと社会』(13), 199–223 頁

———「旧ソ連における国家語概念に関する一考察：クルグズ（キルギス）共和国における地位計画を事例として」『スラヴィアーナ』(2)(通算 (24)), 47–68 頁

Onuma Takahiro, “The Development of the Junghars and the Role of Bukharan Merchants,” *Journal of Central Eurasian Studies*, 2, pp. 83–100

加藤志津子「カザフスタンの企業システムの現状：2010 年 3 月のアスタナでの調査を中心として」『明治大学社会科学研究所紀要』49(2), 67–82 頁

河野明日香「独立後のカザフスタンにおける高等教育改革と留学生政策：欧州・アジア諸国によるインパクトに焦点を当てて」『教育制度研究紀要』(6), 1–12 頁

Kikuta Haruka, “Ruh or Spirits of the Deceased as Mediators in Islamic Belief: The Case of a Town in Uzbekistan,” *ACTA SLAVICA IAPONICA*, 30, pp. 63–78

木下恵二「新疆における盛世才の統治と粛清：一九三七年〜三八年」『法学政治学論究』(89), 1–24 頁

魏力・米克拉依「現代ウイグル語の漢語借用に見られる音韻現象」『研究論集』(11), 29–50 頁

雲和広「タジキスタンの国際労働移民と外国送金：タジク移民は貧困削減的か」『経済研究』62(2), 113–128 頁

小泉悠「ロシア、カザフスタン、ベラルーシの経済統合:関税同盟条約を中心に」『外国の立法:立法情報・翻訳・解説』(250), 183–190 頁

———「ロシアのアキレス腱 グルジア戦争から 3 年を経たカフカス」『軍事研究』46(10) , 217–231 頁

小杉末吉「一九九四年ロシア連邦 - タタルスターン共和国権限区分条約論 (2) 交渉過程を焦点に据えて」『法学新報』117(5・6) , 1–44 頁

———「一九九四年ロシア連邦 - タタルスターン共和国権限区分条約論 (3・完) 交渉過程を焦点に据えて」『法学新報』117(9・10) , 33–102 頁

坂口泉「回復遅れる NIS 乗用車市場：ウクライナ・ベラルーシ・カザフ」(特集 NIS 諸国のベクトルを探る)『ロシア NIS 調査月報』56(6), 14–28 頁

———「ロシアとカザフスタンの石油産業の歩み」（特集 ソ連解体と NIS 諸国の独立から 20 年）『ロシア NIS 調査月報』56(12), 22–42 頁

———「タタルスタンとバシコルトスタンの石油産業：新首長の下での動き」『ロシア NIS 調査月報』56(2) (通号 951) , 1–16 頁

櫻井雅夫「ウズベキスタンの外資関係法規 (5) 」『貿易と関税』59(1) (通号 694), 40–49 頁

———「ウズベキスタンの外資関係法規 (6)」『貿易と関税』59(2) (通号 695), 21–27 頁

———「ウズベキスタンの外資関係法規 (7)」『貿易と関税』59(3) (通号 696), 31–37 頁

———「ウズベキスタンの外資関係法規 (8) 」『貿易と関税』59(4) (通号 697), 8–35 頁

———「ウズベキスタンの外資関係法規 (9) 」『貿易と関税』59(7) (通号 700), 36–43 頁

Shioya Akifumi, “Irrigation Policy of the Khanate of Khiva regarding the Lawzan Canal (1), 1830-1873”『筑波大学地域研究』(32), 115–136 頁

清水学「書評 堀江典生編著『現代中央アジア・ロシア移民論』」『比較経済研究』48(1), 77–81 頁

清水由里子「『新生活』紙にみる「ウイグル」民族意識再考」『中央大学アジア史研究』(35), 45–69 頁

ジュマトゥルディ・アディル , 西脇 隆夫 [訳]「キルギス族英雄叙事詩「マナス」第一部 (1)」『名古屋学院大学論集』言語・文化篇 22(2), 112–98 頁

Shinjilt「牧畜民にとってのよいこと：セテル実践にみる新疆イリ＝モンゴル地域の自然認識の動態」(特集 国家・開発・民族)『中国 21』34, 135–162 頁

竹村寧乃「ソ連初期南コーカサス史の研究に向けて：ザカフカス連邦 (1922-1936) に関する先行研究と史料の概要」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』(947), 23–39 頁

立花優「2010 年アゼルバイジャン国民議会選挙」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』(947), 40–49 頁

地田徹朗「ポスト・ニヤゾフ時代のトルクメニスタン政治：ベルディムハメドフ「改革」の方向性と政治体制の変化」『日本中央アジア学会報』(7), 19–44 頁

中馬瑞貴「カザフスタン臨時大統領選挙と新政府発足」(特集 NIS 諸国のベクトルを探る)『ロシア NIS 調査月報』56(6), 30–35 頁

中馬瑞貴「カザフスタン臨時大統領選挙実施」『ロシア NIS 経済速報』(1525), 1–6 頁

辻忠博「中央アジアにおける経済発展の可能性：ダイナミック・キャッチアップ・モデルの観点から」(新シルクロードの経済発展に関する研究) 日本大学経済学部経済科学研究所紀要 (41), 125–139 頁

Duishonova, Nariza Tolbekovna「特定課題研究報告 キルギス語母語話者における名詞修飾節の使用状況：誤用のタイプから難しい用法を探る」『日本言語文化研究会論集』(7), 139–166 頁

中島隆晴「中央アジア：イスラーム過激派組織とその活動の変遷」『海外事情研究所報告』

(45), 91–99 頁
成岡道男「ウズベキスタンにおける農業労働者のセーフティネット」『水土の知』79(4) (通号 713), 279–283 頁
西原明史「イスラーム「主義」: ウイグル族の信仰と社会に関する一考察」『安田女子大学紀要』39, 95–108 頁
蓮見雄「EU と中央アジア : 欧州近隣諸国政策を超えて」『経済学季報』60(3・4), 111–172 頁
———「危機後の中央アジア経済:出稼ぎ労働、水資源、パイプラインをめぐって」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』(942), 37–51 頁
原百年「新疆における中国ナショナリズムの展開」(政治行政学科創立二十周年記念号)『山梨学院大学法学論集』68, 189–206 頁
平田昌弘「ユーラシア大陸の乳加工技術と乳製品 (第 9 回) 中央アジア:カザフスタンの事例」『ニューフードインダストリー』53(9), 71–82 頁
樋渡雅人「ウズベキスタンの経営文化:開発論における共同体像とマハッラの共同体像」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』(951) 2011.11, 19–33 頁
福田浩子「中央アジアの民族衣装・女性用脚衣についての一考察 : 広島県立美術館蔵ウズベクのイシュトン、トルクメンのバラクを中心に」『広島県立美術館研究紀要』(14), 1–12 頁
福田浩子「中央アジア・トルクメン人の民族衣装コイネクについて」橋寺知子 , 森部豊 , 蜷川順子 , 新谷英治共編『アジアが結ぶ東西世界（アジアにおける経済・法・文化の展開と交流 ; 3)』関西大学出版部 , 210–243 頁
買蘇提・希日娜依（Masut Sherenay）, 大谷順子「新疆ウイグル自治区の特有群体「民考漢」: ウルムチ市のウイグル人を事例として」(特集 国家・開発・民族)『中国 21』34, 281–302 頁
Maihemutijiang Maimaitijiang「ウイグル語・日本語機械翻訳における格助詞対応問題」『情報学研究 : 朝日大学経営学部電子計算機室年報』20, 21–26 頁
前野高章「中央アジア諸国の貿易構造と輸出決定要因分析」(新シルクロードの経済発展に関する研究)『日本大学経済学部経済科学研究所紀要』(41), 169–190 頁
マミテリ・ニマテ , パルハト・アブドカディル , 山本いずみ「MOSES を用いた日本語ウイグル語機械翻訳実験」『情報処理学会研究報告 自然言語処理研究会報告』2011-NL-203(5), 1–5 頁
メメティ・タシ「トルコ共和国のウイグル人移民集団に関する調査報告」『国際人間学フォーラム』(7), 45–65 頁
元木靖「新疆ウイグル自治区の土地利用」(特集 アジアの暮らしと土地利用)『地理』56(9), 36–49 頁

山本賢二「新疆「七・五」事件と中国のインターネット規制」『政経研究』47(4), 779–812 頁
吉川元「民族自治制度とアイデンティティ政治:ザカフカス民族紛争をもたらした自治制度」『法学新報』117(11・12), 457–494 頁
渡辺悌二 , 泉山茂之 , 澤柿教伸 , ガウナビナカ・レンバイアテライテ , アナルバエフ・マクサト「ソ連邦崩壊後のパミールにおける家畜の移牧と環境問題」『季刊地理学』63(1), 42–43 頁
渡邊知釈「JFL 環境におけるピア・ラーニングを前提としたモノリンガル教師による日本語通訳入門コースの考察:キルギス共和国日本人材開発センターにおける実践を通して」『群馬大学国際教育・研究センター論集』(10), 59–75 頁